

## 招聘研究者 概要

### ○芦田 久

近畿大学生物理工学部食品安全工学科 教授

昭和 63 年 京都大学農学部食品工学科卒業。

ヒガシマル醤油株式会社、株式会社京都第一科学勤務を経て、

平成 9 年 京都大学大学院農学研究科の研究生。

平成 12 年 京都大学博士（農学）を取得。

米国チュレイン大学医学部、大阪大学微生物病研究所の博士研究員を経て、

平成 16 年 同助手。

平成 18 年 京都大学大学院生命科学研究科助手。

平成 19 年 同助教。

平成 20 年 同准教授。

平成 24 年 4 月～ 現職。

#### 【役割】

研究テーマ①「健康長寿を指向した和歌山県特産果実由来の消化管機能改善成分の探索と機能解明」を担当。和歌山県産農産物に含まれる食品機能性成分を探索、解明、検証することにより、特産農産物の高付加価値化・ブランドカアアップを目指す。

### ○尾崎 嘉彦

近畿大学生物理工学部食品安全工学科 教授

民間企業、和歌山県工業技術センター、（独）農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所での勤務を経て

平成24年～ 現職。

専門は食品化学、応用微生物学、かんきつ、うめ、かきを中心とする果実類の機能成分の探索とその利用技術の開発、微生物酵素を利用した新たな果実類の加工技術の開発に従事。

#### 【役割】

研究テーマ②「和歌山県の特産果実に含まれる二次代謝産物の利用技術の開発」を担当し、ウメ、カキ、ウンシュウミカン等に含まれる二次代謝産物の単離と同定を進めるとともに、食品素材等として活用するための製造技術の基礎的な知見の取得を目指す。

## ○永井 宏平

近畿大学生物理工学部遺伝子工学科 講師

平成16年3月 京都大学大学院農学研究科食品生物化学専攻博士後期課程修了。  
博士（農学）取得。

平成16年4月 (財)わかやま産業振興財団 プロジェクト研究員

平成20年9月 聖マリアンナ医科大学医学部生化学教室 助教

平成24年4月～ 現職

### 【役割】

研究テーマ③「和歌山県特産農産物からの「ヒトの免疫作用に効果を及ぼす食品由来の機能性物質」の探索」を担当。和歌山県産農産物に含まれる食品機能性成分を探索、解明、検証することにより、特産農産物の高付加価値化・ブランドカアアップを目指す。

## ○竹島 健

和歌山県立医科大学 特別研究員

平成18年3月 山梨大学医学部医学科卒業

平成18年4月 倉敷中央病院 初期研修開始

平成20年3月 初期研修終了

平成20年4月 同病院 内分泌代謝科・代謝・リウマチ科

### 【役割】

研究テーマ④「植物由来保健機能成分による脂質代謝改善、糖尿病予防に関する研究」を担当。糖尿病などの疾患に関し、梅酢ポリフェノールをはじめとする抗酸化物質に着目し、ライブセルイメージング、生体内イメージングなどの手法により、脂肪細胞から分泌される生理活性物質の異常に対し、添加した物質がどのように機能するか等を明らかにする。

## 「医・農」分野の中核研究者の集積と主要研究テーマ

